

『星陰りて、謀り響く』追加ハンドアウト

若い図書館員

陰謀論者のマードーミステリー

条件: 「殺された図書館員の本名」を GM に伝えること

PC1 『シンフォニー』であること

ネタバレ防止用ページ

追加情報: アリアケ・アオイのあだ名は「アリア」

ヨウテラベ市で殺された若い図書館員の名前を口にしたとき、自分がその名前をずっと前から知っていたのだと気が付きました。

194 年 3 月。まだ、トエ市が平和だったころ。交番に 1 人の高校生が迷い込んできました。

アリアケ・アオイ。

高校生はそう名乗りました。4 月から大学生になるアリアケは、卒業旅行に来ていたそうです。

「スマホもレンに預けたままで……」

一緒に旅行に来ていた「レン」がくるまで、アリアケは様々に話をしました。ポツポツとした口調も次第にほぐれ、もともとの快活な性格をのぞかせました。

「でもレンは、危険だから自分が代わる、って言ってきかなくて。

自分の方が年上だーとかレンはいうけど、半年だけですからね？ 半年！」

アリアの話は表情豊かでした。特に幼馴染の「レン」の話をするときは、こちらが目を細めるほどに、まぶしい表情を浮かべました。

「私、学校ではアリア、って呼ばれてるんですよ。

知ってますか？ アリア」

「えっと、なんだっけ『何とかの上のアリア』みたいなやつだっけ？」

「『G 線上のアリア』^[1]ですね！ 凄く透きとおった曲で大好きです」

あの事件から 1 年が経ちますが、一向に軽くならないようです。

勢い余って胸に飛び込んだアリアケと、それを照れくさそうに抱きとめる幼馴染。

自分が守れなかった日々の重さは。

[1]: バッハ作曲「管弦楽組曲第三番二長調 作品番号 bwv1068」の第 2 曲「アリア」をアウグスト・ウィルヘルミがハ長調へ移調して編曲したもの。